



ひだまり

第16号

理事長あいさつ

残暑お見舞い申し上げます。

日頃、皆様方には、法人並びに各事業所の事務事業に対しまして、温かいご支援・ご協力を頂いておりますことに、厚くお礼を申し上げますとともに、7月28日に最大震度7の地震が発生し、多くの被害が出た熊本地震の被災者の皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

現在、法人が運営する各事業所の事業も計画通りに推移しており、事業所に集う40数名の仲間たちも、この暑さに負けることなく、事業所での生産活動や余暇活動などの日中活動に励んでおります。このことは、保護者・法人役・職員等関係各位のご協力のお蔭であると感謝しているところであります。特に、日本全体の労働力不足から法人における職員の新規採用の応募が皆無の状況のために、将来新たな事業展開はおろか、現在の利用者定員、事業を維持していくことが精一杯の職員配置のなか、職員の皆が「福祉の心」を胸に、精一杯職務に精励しておりますことに心強く感じております。

これからも、「明るく笑顔が絶えない職場、透明性のある事業所運営」に取り組んでまいりますので、皆様の変わらぬご支援を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、まだまだ残暑が続きますが、ご自愛のうえご健勝にお過ごしくださることをご祈念申し上げてあいさついたします。

うまぐりの里理事長 岡田 武夫

保護者会会長あいさつ

『保護者会総会開催のご報告と今年度の事業計画について』

法人関係者の皆様には、日頃より保護者会の活動にご理解とご協力を頂き大変有難うございます。

去る4月29日(水)に2026年度保護者会総会を開催致しました。コロナ禍以降、ゆーあい工房のホールにて総会(会議のみ)を開催しておりましたが、今年は枋木サンプラザに会場を変更し、従来総会後に開催していました「歓送迎会」を、7年ぶりに保護者と職員の皆さんとの「懇親会」に変更して復活開催しました。この6年の間に保護者、職員の顔ぶれも大きく変更になったことから、初めての懇親の場になったメンバーも多かったかと思えます。非常に有意義な時間を過ごせたと感じております。

当日開催した総会では、20家族の保護者の皆様にご参加を頂き議題の審議をして頂きました。今年度も、ゆーあい工房の行事日程と連携して利用者の皆に楽しんでもらえるような内容で、事業を計画させて頂きました。

5月17日(日)には、好天に恵まれて大勢のお客様にお越しいただいて「工房まつり」を実施することができました。

また7月29日(水)には関東ホーチキにしかた体育館にて、「運動会」を開催しました。今年も冷房設備が整った快適な環境の下で各種競技を楽しむことができました。その後も、工房の行事と連携した事業を計画しておりますので、多くの皆様方にご参加頂ければ幸いです。

最後になってしまいましたが、今年度改選されました保護者会役員を次の通りご紹介させていただきます。

【会長】佐野、【副会長】大塚、【会計】針ヶ谷(新任)

【監事】長、大浦【理事】石山(新任)阿部(新任)【顧問】安生 (敬称略)

これから2年間宜しくお願い致します。

ゆーあい工房保護者会会長 佐野 義晴

法人設立30周年記念事業実行委員会活動報告

令和8年6月4日開催の理事会において、令和9年7月15日で社会福祉法人うまぐりの里が設立30周年の記念の日を迎えるにあたり、令和9年度に予定する記念事業の企画立案を担う委員会を設置することを目的として、「法人設立30周年記念事業実行委員会設置要綱」が制定されました。

その要綱を基に、法人役職員、保護者会役員を中心として、法人設立30周年記念事業実行委員会が組織されました。

6月4日の理事会後に第1回総務部会が開催され、アンケート調査等を行っていくこととなりました。7月18日に、記念式典部会、記念誌部会、記念行事部会の合同会議が開催され、各部会長や会計担当が決まり、各部会での検討がスタートしました。

今後、アンケートの集計結果等を踏まえて、各部会長を中心に、より具体的な検討を重ねながら、法人設立30周年の記念事業の実施に向けて活動していきます。

常務理事 川又 正久



無学文盲



『クビアカツヤカミキリ』

お世話になっております。法人の適切な運営に微力ながら尽力してまいりたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

さて、今回お話ししたいことは世界平和から雷まで様々ございますが、クビアカツヤカミキリについてお話ししたいと思います。

ご存じかとは思いますが、この虫は特定外来生物に指定されており、その幼虫が梅、桜、桃などバラ科の植物の樹木内部を食い荒らし枯らしてしまうものです。

今年、我が家のスモモ(プラム?)も枯らされましたが、高さ3m程の樹木から35匹の成虫を駆除しました。改めてその繁殖力の脅威を思い知らされ、将来、桜の花見ができなくなることや、桃の生産等に大打撃を与えることを大きく危惧するにいたりました。

地球温暖化が起因しているとのことですが、この害虫の分布は急拡大中であり、国レベルの更なる対策強化が必須と感じております。どなたか高市さんと知り合いの方がいらっしゃいましたら、よろしくお伝えください。

うまぐりの里 理事 橘 唯弘

ゆーあい工房まつり2026が開催されました



5月17日(日)ゆーあい工房まつりが行われました。今年は天気にも恵まれ、来場者数も延べ400人、たくさんのお客様を工房にお迎えしました。ボランティアさんが24人もお手伝いくださったのも、ここ数年では少ない参加数でした。改めて感謝申し上げます。

保護者会の模擬店ブースでは、はじめての試みの「揚げ物バイキング」コーナーがあり、たくさんの方が種類を選ぶのに悩み楽しむ姿が見られました。外部団体では、北武井お囃子保存会による演奏、佐々木金蔵氏によるピアノ演奏、バンド聖紫涙さんによる演奏、ヤマサン木材さんによる木工体験コーナー、「とち介」の来場等、たくさんの方にご協力いただき、祭りを盛り上げていただきました。聖紫涙さんのバンド演奏では、来場者の方もステージに上げていただき、一緒に歌わせてもらえる時間もあり、仲間の笑顔がたくさんみられた事、本当に嬉しく思います。

みんなで作り上げたお祭りを来年も楽しみに、一年過ぎて頂けたら主催者としても大成功です。

ゆーあい工房まつり2026 実行委員長 川又 裕子



運動会を開催しました

今年の運動会では「玉入れ」「皿返し」「障害物競走」「ダンス」「缶釣り」「ボール運びリレー」「ボール送り」と7種目の競技を行いました。仲間の皆さんは、精一杯競技に参加し、チームを応援する声会場いっぱいに広がりました。

保護者の皆さまにも競技へ参加していただき、一緒に体を動かしながら楽しい時間を過ごすことができました。利用者の皆さんのいきいきとした姿がとても印象的で、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

また準備から片付けまで、参加した全員で力を合わせて協力し、無事に運動会を終えることができました。最後まで快くお手伝いいただいた保護者・ボランティアの皆さま、本当にありがとうございました。皆さまの温かいご協力のおかげで、楽しく思い出に残る一日となりました。

支援員 小林 倫子





皆様の支えにより、今年度で第1棟目のGHなごみの家が10周年を迎えられたこと、また昨年オープンした2棟目のひなたの家が1周年を迎えられたことに感謝申し上げます。職員一同、大変喜ばしく思っています。

これまで両GHの名前のおり、和やかな雰囲気ひなたにいるような暖かさの中で事業ができたのはゆーあい工房関係者、地域の方々の理解とご協力があったものと深く感謝いたします。

現在2棟のGHは少しずつ関わりを持ちながら、楽しく生活をしているところです。家庭的な環境の中で世話人、支援員が中心となり母的な存在、時に父であったり兄弟であったり友達であったりしながら支援にあたっています。

休日は布団を干し、買い物をし、時折外食や近場に遊びに行くこともあります。令和8年6月には10周年と1周年を記念して、両GH一緒にお食事会を開きました。また、利用者のお誕生日にはお赤飯を炊いて、ケーキを準備しお祝いをしています。

これからもその都度、利用者の実態に合わせて臨機応変に対応しながら、安心安全に生活できるように努めてまいりますので、今後ともご協力の程よろしくお願ひいたします。

主任支援員 赤堀 美穂



ひなたの家交流スペースについて

令和7年5月に開所したひなたの家に併設されている交流スペースの運用に必要な事項を定める「共同生活住居ひなたの家交流スペース運営要綱」が令和8年3月17日開催の理事会で制定され、同年4月1日から適用されました。

その要綱には、地震や風水害等による災害の発生またはそのおそれがある場合等の「非常時」やそれ以外の日「平常時」の事業所運営に支障のない時間帯に地域住民等に開放することにより、施設の有効活用と地域コミュニティの向上に資することなどが規定されています。

令和8年4月12日開催の大平町蔵井自治会総会の席で、ひなたの家交流スペースの説明をし、地域の方たちに理解をしていただいたうえで、災害時の施設利用等に関する協定を締結し、栃木市危機管理課に報告しました。

また、平常時の開放として、蔵井住民による会議の開催やゆーあい工房保護者会の皆さんによる定期的なボランティア活動で活用していただいています。

今後もグループホームの入居者に配慮しながら施設を開放し、閉鎖的になることなく開かれた施設として地域に貢献していきたいと思います。



常務理事 川又 正久



保護者ボランティアを通して

ゆーあい工房では、以前から【保護者ボランティア】を行ってきました。今年度、新たに案内を出してご協力をお願いすることになりました。現在、大平町蔵井にできた「GHひなたの家の交流スペース」を利用して行っています。作業内容としては仲間たちが取り組んでいるお仕事の補助的な作業になります。例えば受注作業の袋とじ、木工作業の布切りや貼り合わせ、ペットボトル出しなど内容は様々です。現在は30周年記念事業に向けての準備にも携わっていただいています。

参加してくださっている保護者のみなさんからは、「毎日会話をすることが減っていましたが、参加することでお話ができ、相談ができて楽しく取り組んでいます。心も身体も元気になります！」といった言葉や、「仲間たちと同じ仕事ですよと言われ、高齢者の親よりもいつの間にか様々な仕事ができるようになっていくことを知りました。そして、「この子にこんなことはできない」と勝手に決めつけていることを知りました。仲間たちが頑張っている姿を感じることができ、応援していきたいと改めて感じました。」とゆーあい工房にとってはもちろんのこと、新たな発見や保護者のみなさんにもプラスになっていると感じ、大変うれしく思います。まさに一石無限大ですね。

今後ともお互いのためになるように、取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。たくさんの保護者の方のご参加、お待ちしております。



日時：毎月第1・第3金曜日の10:00～

場所：大平町蔵井 GHひなたの家 交流スペースにて

主任支援員 赤堀美穂

コラム「虹色のペンシル」 第17話

『我が家のアイドル?!』 石山 新一(由美子父)

カラオケ好きの祖父の影響で、小さい頃からおもちゃのマイクを片手に歌って踊ることが大好きだった由美子。幼い頃の十八番は、今となっては懐かしい「一円玉の旅がらす」。今ではテレビで耳にする機会もすくなくなりましたが、家族にとってはかわいらしい思い出として今も心に残っています。その後はSPEED、モーニング娘。、AKB48と、その時代の流行とともに好きな歌や歌手も変わっていきました。歌もダンスもお手のもので、いつも家族を笑顔にしてくれる存在でした。

そして今でも、その歌好きは健在です。アイドルから様々なアーティストまで、いったいどこで覚えてくるのだろうと思うほど、生まれる前の昭和の名曲から最新のヒット曲まで幅広く知っています。

テレビで歌番組が始まると、リビングのマッサージチェアに座り、テレビのリモコンをマイク代わりに大熱唱。その姿は、今も昔も変わらない「我が家のアイドル」です。

これからも大好きな歌を口ずさみながら、たくさんの笑顔を届けてくれる、今のままの由美子でいてほしいと思います。家族にとって由美子は、笑いと幸せが絶えない毎日届けてくれる、かけがえのない宝物です。



「つぶやき」

『大切にしているもの』

皆さん大切にしているものがあると思います。私もたくさんありますがその中の一つ、「人と人の縁」です。

私が中学校に入学した時、若くてハンサムな先生が担任になりました。嬉しい事に三年間受け持ってくださいました。

子育ての時は、仲良しグループの仲間と時々会っていましたが、子育てにも一段落すると、先生や他の友達にも会いたいねとなり、クラス会を開きました。今では毎年クラス会を開催して、その間バーベキューをしたり、東京観光や美術館巡りなどしています。クラス会では先生の若い頃からの趣味の落語を披露してくれます。

先生は校長となり、定年後は教育委員長そして美術館の館長を今年の三月まで勤めて退職されました。

先生や同級生に会くと、学生の時のままの気持ちに戻って、楽しくて嬉しくてとても幸せを感じます。

何十年も経つと、見た目も先生と皆との差が無くなり、先生も同級生になります。(笑)

これからもみんな健康でずっと長く続くことを願っています。

支援員 中田和子



利用者紹介

◎大阿久 裕美(おおあく ゆみ)さん

・現在、グループホーム ひなたの家で生活しています。週末には、家に帰省することを楽しみにしている様です。

今回は、家での楽しみを聞いてみたところ、アニメが大好きで特にドラえもんが好きだと話してくださいました。

裕美さんは、どこでもドアが欲しいそうです(^O^)/

《好きな給食》

- 1位 スパゲッティ！！
- 2位 シチュー
- 3位 ケーキ



◎遠藤満広(えんどう みつひろ)さん

・現在、就労継続支援B型の木工作業に所属しています。毎日一生懸命に木工品の加工を頑張っています。

そんな、頑張り屋な満広さんに休日の趣味をインタビューしました。

満広さんは、休日にタブレットを使い大好きな日本史の本を読んだり、調べたりしていると答えていました。特に好きな偉人は、織田信長で本能寺の変の最後のところに感銘を受け好きになったそうです(*^^*)

《好きな給食》

- 1位 ピラフ
- 2位 唐揚げ
- 3位 プリン



中江さんおかえりなさい

利用者の中江二夫さん(73歳・男性)は、2月にGHなごみの家で転倒し、右大腿骨転子部を骨折してしまいました。約2か月間の入院治療の後、老健施設に移り、機能回復に向けて3か月を目安としてリハビリが始まりました。

約1か月後、職員が様子を見に行ったときには、まだ自立歩行はできず、車いすでの移動、車いすの乗降も補助が必要な状態で、ポータブルトイレに移ることができず、紙おむつでの生活でした。

中江さんは、その時久しぶりにゆーあい工房の職員の顔を見て話をしたときに、「ゆーあい工房に戻りたい。なごみの家に戻りたい。みんなに会いたい。」と言って、号泣しました。

それから、中江さんは、「歩けるようになれば戻れるよ。」という職員の言葉を信じ健気にリハビリに取り組み、約1か月後には、ケアマネさんから、見守りがあればトイレにも自分で行けて、お風呂も自分で一般の風呂に入れるようになっていたという話があり、手すりを使わず自力で20メートルほど歩くところを見せてくれました。それを見て驚いた職員に、満面の笑みとドヤ顔を見せてくれました。

3か月目、いよいよ老健施設退所後についての具体的な検討となりました。相談支援専門員を中心とし検討した結果、夜間宿直体制であるGHひなたの家で受け入れることとし、生活に必要な手すりの整備、歩行器等の手配、入浴を中心とした職員のサポート体制づくりを早急に行いました。

中江さんは、改めて入居することになるひなたの家を見学し、とても喜んでいました。また、見学後ひなたの家からゆーあい工房へ移動する車内で、「(リハビリを)一生分頑張っちゃった。」としみじみ話していたのが、印象的でした。

最後に、ゆーあい工房は、うまくいくことばかりではないかもしれませんが、利用者の年齢が高齢だからこれっきりということではなく、今回の中江さんのように、利用者がここに居たい、ここに戻りたいという声を聴き、利用者の頑張りに応えることができる施設でありたいと思います。



施設長 川又 正久



3/30お花見



4/18いちご狩り



5/2市内散策



2026年1～7月行事いろいろ

1/8初詣



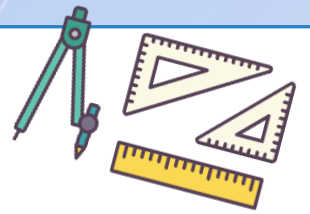
1/10新年会



2/21ボウリング



ゆーあい工房 各種委員会・研修報告 【令和8年1月～令和8年7月】



ハラスメント防止委員会・研修会

R8年2月3日／R7年3月14日 委員会の実施

R8年3月14日 研修会の実施「施設のパワハラ・カスハラリスク軽減のために」

R8年5月29日 委員会の実施

R8年6月10日 研修会の実施「セルフチェック・ストレスチェック」

○年々ハラスメントに対しての見方が厳しくなっていると感じます。ゆーあい工房全体が風通し良く、気持ちよく過ごせるようにするためにも定期的に委員会・研修会を実施し、お互いが切磋琢磨、相談をしながら仕事ができるようにしていきたいと感じています。

虐待防止、身体拘束適正化委員会・研修会

R8年2月12日 委員会の実施

R8年2月16日から3月6日 研修会の実施「虐待防止について事例から学ぶ」

○研修会を行うたびに初心に帰る思いです。慣れ親しんでいる中であっても、大人としての言動、礼儀を忘れずお互いを思いやって支援にあたらせていただきたいと思います。誰に見られても恥ずかしくない対応を心がけていきたいと思います。

処遇改善キャリアアップ委員会・研修会

R8年2月12日 委員会の実施

R8年2月17日 研修会の実施「Excelの基礎講座」

○今回は職員の事務力向上のためにExcel講座を行いました。行政書士法人小材秀明事務所に依頼し今後の業務に生かせる研修会となりました。

感染症対策委員会・研修会

R8年2月18日 委員会の実施

R8年2月18日 研修会の実施「感染症の種類・かかりやすい感染症と時期」

R8年5月25日 委員会の実施

R8年6月16日～18日 研修会の実施「手洗いの基本」

○感染症対策の基本は手洗い、ということで花王から配信されている「おねがいカメさん・手洗いの歌」を職員、利用者で視聴し練習しました。今も昼休みの後に放送で流し練習しています。



事業継続計画(BCP)作成委員会・研修会

R8年2月10日／3月11日 委員会の実施

R8年3月11日 研修会・計画訓練の実施「ひなたの家避難スペースへの避難」

○今回の避難確保計画訓練はひなたの家に併設した避難スペースへの避難を想定し実施しました。移動車両の配車から計画し、スムーズに避難ができました。利用者みなさんも初めて入る避難スペースに驚き「広い」と口にしていました。



主任支援員 赤堀 美穂



職員人事異動について

◎職員の採用

中村 君枝氏 (2月1日付・非常勤・相談支援専門員)
鈴木 悦子氏 (3月1日付・非常勤・生活支援員兼世話人)
新村 恵理香氏(4月1日付・常勤・生活支援員)
どうぞよろしくお願いします。



◎職員の退職

川島 真智子氏(1月31日付・相談支援専門員)
荒川 直人氏(3月31日付・生活支援員)
お疲れさまでした。

◎お誕生

支援員・福富大介氏第2子(女兒) 恋白(こはく)ちゃん 8月17日誕生
健やかにご成長されますように♡



◎お悔やみ

遠藤 光正氏(令和8年6月7日逝去 満75才 ゆーあい工房利用者の保護者)
熊倉 喜美氏(令和8年7月23日逝去 満92才 支援員熊倉美子氏の実母)
ご冥福をお祈り申し上げます。



◎寄付金報告

●令和8年1月1日から7月31日の間にご寄付いただいた方

匿名様	50,000円
匿名様	50,000円
ゆーあい工房友の会様	51,000円
ゆーあい工房保護者会様	50,000円

ご支援に深く感謝いたします。



社会福祉法人うまぐりの里
法人本部、障害福祉サービス事業所ゆーあい工房
相談支援事業所めだか

☎ 328-0033 栃木市城内町2-62-14

TEL 0282-25-4001

Fax 0282-25-1575

E-mail yu-aikoubou@cc9.ne.jp

ホームページURL: <https://www.umagurinosato.com/>

共同生活援助事業所なごみの家

☎ 329-4412 栃木市大平町北武井655-3

TEL・Fax 0282-21-7800

●編集後記●

今年も暑い夏が続いていますが、お盆休暇は、秋のような涼しさも感じられました。

最近では、工房の中にトンボが迷い込んでくることもあり、少しずつ秋の気配を感じます。

今年は、季節外れのインフルエンザも流行っているようですので、皆様体調に気をつけてお過ごしください。

●編集スタッフ●

うまぐりの里常務理事

ゆーあい工房主任支援員

ゆーあい工房相談員

ゆーあい工房支援員

川又 正久

赤堀 美穂

大久保 美穂

福富 大介

